

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

令和3年(2021)

皇紀2681年

新型コロナ禍 拡大 早期熄滅退散祈願

令和3年わかば祭り(春の大祭)号【第120号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

春の大祭に 再び新型コロナ大禍熄滅退散を祈る …	2頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内 ……	3頁
杜の話題 ……	5頁
大宮八幡の杜 春から夏へ ……	8頁
第8回フォトコンテスト作品募集中 ……	9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信 ……	10頁
わかば祭り社頭風景 ……	12頁



コロナ禍熄滅退散!! 「四方祓神前清めの太刀」武田流傳黒坂派 師範 黒坂信昭師
(5月3日わかば祭り 第一日ノ儀)

春の大祭に再び新型コロナ禍熄滅退散を祈る

宮司 鎌田紀彦

今年、東京地方の桜の開花宣言が3月14日にあり、境内、手水舎脇の老木辛夷は、多くの真つ白い満開の花を咲かせておりました。当宮桜まつりの殆どの桜も月末には、週末の雨で花吹雪となり、今、八重の桜が美しく見頃となっております。



満開の辛夷 (田打ち桜)

何卒、この度の諸事情をご理解下さいまして、一日も早い終熄滅退散と皆々様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

又、付属の大宮幼稚園でも新年度(令和3年度)の4月8日(木)、年長年中組の始業奉告祭が大前(増設の張り出し外拝殿)で斎行され、次いで4月10日(土)第72回入園奉告祭が開催され、引き続き略式の第72回入園式を挙行致しました。終了後の外拝殿前のお立ち台(2台)には入園児を囲みご家族での記念撮影に長蛇の列が続いております。これから大宮幼稚園ならではの神社保育が始まります。

4月11日は、昨年目出度く御鎮座1000年祭を斎行された明治神宮のご祭神昭憲皇太后様(明治天皇の皇后)のご命日で、明治神宮では昭憲皇太后107年祭が斎行されました。

ご存知でしょうか。世界最古の国際人道基金『昭憲皇太后基金』(The Empress Shoken Fund)のこと。

明治45年(1912)、日本赤十字社の創設者で福祉事業にご造詣の深い皇后様が、平時に於ける救護事業のために「国際赤十字」に10万円(現在の3億5千万円相当)を寄付されて「昭憲皇太后基金」が創設されました。そうして大正10年(1921)4月11日のご命日に、各国の赤十字へ第一回の利子配分がなされ、以後戦時下にあつても開発途上の国々の、保健衛生事業や海外救護事業等に活用されているのです。

毎年ご命日4月11日頃に配分先が発表され、今年度、記念すべき「1000回目の配分」と

なりました。同基金は国際赤十字の中に設けられた合同管理委員会によって運営され、日本の皇室や明治神宮崇敬会などからの寄付金によって支えられており、原資を切り崩すことなく、そこから得られる利子で世界の赤十字社の活動に配分されます。

因みに、今回で1000回目の世界最古の国際人道基金「昭憲皇太后基金」の配分は、赤十字国際委員会と国際赤十字と赤新月社連盟によって配分先が決定されました。

記念すべき1000回目となる今回は16ヶ国の赤十字・赤新月社に対して総額5,591万円(475,997スイスフラン)が配分されました。

又、同基金の配分額は、1921年(大正10年)の第1回から今回(第1000回)までで、累計17億円以上(15,100,641スイスフラン)、配分先は171の国と地域にのぼります。(日本赤十字社HPより)

天皇陛下には、6日午前皇居内生物研究所脇にある苗代にうるち米の「ニホンマサリ」ともち米の「マンゲツモチ」の「種もみ」のお手播きをされました。皇居での稲作は昭和天皇から続く恒例行事で、陛下が種もみを播かれるのは2回目。種もみが播かれたご様子や、育った稲は陛下御自ら5月に田植えをされ、秋に稲刈りをされる見通しなどが報じられました。

(10日の産経新聞「皇室ウィークリより」)
10月17日、伊勢神宮の神嘗祭に「懸税」(根付き稲穂)として奉納され、11月23日、宮中の新嘗祭に酒・ご飯・餅等に加工してお供えになるのです。

今年の桜の開花に合わせた様に、自然界の息吹も一足飛びの様で楠は日々多くの葉を落とし、若葉が麗しく芽吹いております。躑躅



多摩清水社前の椿

も咲き始め、チュリリップ、ぼたんや藤の鉢も花が美しく咲いています。(今年のわかば祭りは青葉祭りになりそうです。)

いずれにしまして
も5月5日の大祭

当日祭(尚武祭)は皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈念致します。今年の五穀の豊穣を中心にあらゆる産業の発展とご家族の繁栄、氏子、崇敬者等ご家族の平安をご祈念させていただきます。

古来より、春のお祭りは、秋のお祭り、新嘗祭(しんじょうさい)と二対の祈年祭(きねんさい)でもあります。

年は稲霊(穀霊)―奥津御年―を表し、五穀の豊穣を神々に祈り(祈年祭)、秋にはその収穫の品々を神々におもてなしをして感謝をするお祭りが新嘗祭で、その時の初もの(お供え物)を、神々よりの賜り物(食べ物の語源)として頂いてきました。

神々と同じものを頂くことに依つて、神々より更なる生命力(恩頼)を頂いてきたのです。

併せて、新型コロナ禍拡大早期熄滅退散祈願はもとより大宮八幡祭り(秋の大祭)や新嘗祭が盛大に斎行されますようご祈願をいたします。

新型コロナ禍ではありますが密を避け、ソーシャルディスタンスを取りながら、ご家族様お揃いで青葉繁る大宮の杜にご参詣下さい



外拝殿南欄干脇のナンジャモンジャ (ひとつばたご)

いますようお待ち申し上げます。(令和3年4月11日記)

わかば祭り(春の大祭)



昨年春先より全国に蔓延している新型コロナウイルス感染症は、今や第4波が到来し、有効なワクチンが普及されるまで予断を許さない状況です。そのような中でも、ご神苑には木々の緑が鮮やかな彩りを添え、わかば祭りの季節となりました。当宮では、まず、4月29日に昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げ**昭和祭**を斎行。次いで、5月1日は、**躑躅育木祭**並びに**皁月朔旦祭**。そしていよいよ5月3日より5日まで、**新型コロナウイルス禍拡大早期熄滅退散祈願 わかば祭り(春の大祭)**を厳粛に斎行致します。春の大祭期間の3日は、**第一日ノ儀**。特に昨年に続き祭典中、武田流傳黒坂派 黒坂信昭師範による、**新型コロナウイルス禍拡大早期熄滅退散の願いを込めた「四方祓神前清めの太刀」**が奉納されます。4日、**第二日ノ儀**。午後には**植樹祭(献木式)**が行われ、献木のご協賛をいただいた方々に観葉植物が授与されます。そして5日午前10時より**当日祭(尚武祭)**が斎行され、皇室国家の安泰・五穀豊穡、新型コロナウイルス禍拡大早期熄滅退散が祈念されます。大祭の神賑行事としては、4月29日の弓道奉納射会(門人のみ)を始め、3日は、神楽殿にて**第一日ノ儀に「四方祓神前清めの太刀」**を奉納される黒坂師とともに、北辰一刀流玄武館一門による古武道の武技が奉納されます。また、表参道では3日より5日まで春の風物詩**大宮八幡植木市**が開催されます。

大宮八幡 植木市

表参道では大祭期間中の3日より5日まで、**春の風物詩 大宮八幡植木市**が開催されます。色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられます。

〽 献木のご協賛と観葉植物の授与

5月4日(みどりの日)は午後2時より大宮八幡宮**植樹祭(献木式)**が斎行されます。当宮みどりの会主催で第71回全国植樹祭(5月30日、島根県大田市にて開催)に因んで斎行され、各ご家庭にも緑を届けようと**献木のご協賛**をいただいた方々には、**観葉植物**が授与されます。献木のご協賛は社頭にて承っております。

献木初穂料 一口 二、〇〇〇円

※年間を通じて承っております。但し、観葉植物の授与は献木式にご協賛の方のみとさせていただきます。

新型コロナウイルス禍拡大早期熄滅退散祈願
わかば祭り(春の大祭)
祭典と奉納神賑行事

祭典
昭和祭 4月29日
躑躅育木祭並びに皁月朔旦祭 5月1日

わかば祭り 第一日ノ儀 5月3日

第42回 稚児行列巡行 中止
わかば祭り 第二日ノ儀 5月4日

大宮八幡宮植樹祭(献木式)
(主催みどりの会) 5月4日

わかば祭り 当日祭(尚武祭) 5月5日
奉茶(裏千家)淡(東京第7西支部) 5月5日

わかば祭り 終了奉告祭(直会乃儀) 5月5日

神賑行事
春の弓道奉納射会(門人のみ) 4月29日

古武道武技奉納 5月3日
佼成学園吹奏楽部奉納演奏 中止

第20回 若葉 in おみや 中止
第20回 挙式者の集い 中止

杉並太鼓奉納演奏 中止
野点茶会 中止

(裏千家淡交会東京第7西支部)
方南エイサー踊り奉納 中止

雅太鼓奉納演奏 中止
奉納献燈提灯 4月29日～5月23日

園児画展 4月29日～5月9日
みどりの会即売 5月3日～5日

スカウトバザー 中止
大宮八幡植木市 5月3日～5日

盆栽展示会・即売会 中止
露店 中止

第21回 茶道裏千家 献茶式 5月8日

昭和祭斎行

4月29日(昭和の日)午前10時より、昭和祭が中祭式にて厳肅に斎行されます。

昭和天皇様は、御父君大正帝の摂政宮を務められ、若くして即位され、戦前(16年間)、戦中(4年間)、戦後(43年間)、所謂激動の昭和期のご在位でありました。昭和20年8月15日、終戦の詔勅(玉音放送)を拝聴致しました。8年6カ月の米軍占領下、国民の弛まぬ努力によって、戦火の焼け野原から立ち上がり、近代都市に見事に復興し、世界第2の経済大国にまで発展を遂げました。その間の日本の国柄も維持され、戦後40余年間に及ぶ象徴天皇として、香淳皇后様とともに、常に国民に寄り添い「国安かれ、民安かれ」と、世界の平和を祈られ、国民からも常に慕われている天皇様でありました。



毎月・お朔日参りを致しましょう

- 毎月1日 朔日祭
- 毎月15日 月次祭
- 毎月25日 大宮天神月次祭

ご自由に参列下さい

第21回裏千家献茶式

5月8日、第21回裏千家献茶式が茶道裏千家今日庵鵬雲斎千玄室大宗匠(先代15代家元)のご奉仕で行われます。宮司の祝詞奏上に続き、ご神前にて大宗匠のお手前により濃茶と薄茶が厳かに献じられます。また大宮幼稚園では幼稚園茶席も開かれ、園児たちの日頃のお手前のお稽古の成果が、緊張しつつも可愛らしく披露されます。(尚、添養茶会は中止)



毎月お朔日参りには

月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日(一日)、十五日に月参りをされる参拝者の方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受け頂こうと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参りのご祈願として「月参り御幣振り神事」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させて頂いております。



春の大祭後の主な行事(予定)

- 御嶽榛名神社例祭 5月16日
- 第42回大宮さつき展 5月22日～6月1日
- 神功皇后祭 6月3日
- 大祓詞書写会 6月19日～27日
- 夏越の大祓・茅の輪くぐり 6月30日
- 第23回乞巧奠 7月1日～15日
- 大宮八幡乞巧潜り 7月1日～15日
- 七夕の神遊び(技芸上達祈願祭) 7月7日
- 雅楽の夕べ(雅楽と神楽舞) 7月3日・10日
- 第21回納涼大宮天神こども祭り書画行燈掲出 7月24日・25日
- 第21回杜のびびきinおおみや(和太鼓演奏) 7月24日・25日
- 多摩清水社例祭(水神祭) 8月1日
- 第38回戦没者慰霊祭 8月15日
- 第21回十五夜の神遊び・月の音舞台 9月20日
- 別当墓地秋季慰霊祭 9月23日

新春社頭往来

- 1月1日 立正佼成会会長 庭野日鏡氏
- 立正佼成会理事長 國富敬二氏
- 立正佼成会杉並教会長 千葉和男氏
- 衆議院議員 石原伸晃氏
- 一条家当主 令夫人 里紗様
- 1月2日 一条實昭氏
- 弓馬術礼法小笠原教場 小笠原清忠氏
- 三十一世宗家
- 1月6日 杉並税務署署長 佐々木紀幸氏
- 1月10日 日枝神社宮司 宮西修治氏
- 1月13日 日刊スポーツ新聞社専務取締役 池田都史彦氏
- 1月27日 紙(神)彫刻士(前世みちびき画家) 中村鳳伯氏
- 有限会社アスクレ 鈴木紀子氏

献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中、皆様方のお名前(ご社名)を入れた献燈提灯を掲出させて頂いたとき、ご社頭を賑々しくお飾りさせて頂いていただいております。つきましては、左記によりご献燈を賜りたくお願い申し上げます。

記

掲出期間 4月29日から5月23日まで
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。



※複数燈でも承ります

杜の話題

新春の表情

元旦の午前零時、宮司の打つ一番太鼓が境内に響き渡ると神門が開かれ、警備員の誘導によって、参拝者が相互に距離をとりながらゆつくりとご神前に進みました。横



一列に並べられた賽銭箱の前で各々が拝礼、向かって右方に流れるように授与所の前に進み、皆様のご協力で極力「密」を避ける事ができました。本殿では、まず宮司奉仕による**新春厄除開運初大祈願祭**（一番祈祷）が斎行され、その後、新春初祈願祭が2月2日の節分まで行われました。払



暁午前2時30分には多摩清水社にて宮司により**若水**が汲まれ、ご神前にお供えされました。明けて午前7時、宮司以下祭員奉仕により**歳旦祭**が斎行されました。また、立正佼成会庭野日鏡会長を始め大勢の方々が参拝され



ました。2日は、小笠原流宗家による恒例の新春除魔神事「**魔目儀**」と「**大的式**」が奉納されました。3日には皇位の大元の始めを**元始祭**が午前10時より斎行されました。尚、年末にご案内致しました幸先詣・分散参拝により、例年の混雑を避けることができました。

表参道石大灯笼にブルーライト照明

新型コロナウイルス感染症と闘う医療関係者に向けて、感謝と応援の気持ちを含めて、正月期間中は二の鳥居前にある石灯笼を、青い照明と青いボードによりライトアップしま

笹の輪潜り神事通年に



新型コロナウイルス禍焼減退散の願いを込めて、昨年5月1日より神門前の**笹の輪潜り神事**は通年に行われることとなり、コロナの焼減退散を願って潜る参拝者が後を絶ちません。

した。新型コロナウイルス禍感染拡大防止対策に向けて、少しでも多くの人々の気持ちがあがるようお願いを込めました。

古札焼納祭（とんど焼き）斎行

1月15日、小正月恒例の行事である**とんど焼き**（古神矢・古神札等焼納祭）が、斎行されました。ご社殿にて**月次祭**を斎行された後、**古神矢・古神札等焼納奉告祭**の後、境内の斎場で**古神矢・古神札等焼納祭**を斎行。祝詞奏上後、**火鑽神事**により浄火が熾せられました。神職・参列員らが**大祓詞**を奏上する中、古神矢・古神札が焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。その後、午後4時まで杉並消防団第2分団にご奉仕いただき事故無く終了することができました。



初天神大祭

大宮天満宮の**初天神大祭**が1月25日、斎行されました。年初の天神祭は天候にも恵まれ丁度受験のシーズンでもあり、受験生をもつ親御さんたちの祈願の申し込みがありました。荒井昭一、瀬沼年男両総代、りんどう会鎌田民枝会長はじめ神前祈願者7名と一般31名の参列がありました。



文化財防火デー消防訓練

当宮では毎年1月26日、杉並消防署の指導のもと、**消防訓練**を行っています。この日は、昭和24年に奈良・法隆寺の金堂より出火した火災で、国宝である十二面壁画が焼失したことにより、貴重な文化財を守るために文化財防火デーに制定されました。午前10時半、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、自衛消防隊の初期消火に続いて杉並消防署、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根高く**一斉放水**を行いました。地元大宮二丁目町会の皆さんにもご参加いただきました。



節分祭 一年の邪気を祓う

節分は、季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日のことで、特に今年は春の節分が124年ぶりに2月2日となりました。当宮では、午前10時より節分祭を斎行。祝詞奏上のあと桃の弓・葦の矢で「天・地・人」の魔を射る卯杖神事を奉仕、次いで外



外拝殿の拡張と賽銭箱の連結設置

「密」を避けて、少しでも多くの方々にご参列頂ける様に特に外拝殿を拡張致しました。結婚式など正面より直接参進できるように可動式になっており、照明や風除けも施されています。賽銭箱は同じ物を5つ接合するようにならべて設置しました。車いすでのご参拝の方々に段差なく賽銭箱の前に行かれるようになり、ご好評を頂いています。



拝殿大前にて宮司奉仕により鳴弦の儀が行われました。鬼に扮した当宮幼稚園の園児たちが間隔を保ちながら、社殿大前にて豆撒き神事を行いました。まず、園児たちを対象に1度行われ、次いで一般参拝者を対象に2回にわたって行われました。

大宮稲荷神社初午大祭



大宮稲荷神社の初午大祭は2月3日におよそ200基もの朱幟りがはためく中、宮司以下祭員により斎行されました。また、当稲荷神

社には姉妹友好神社の竹駒神社（宮城県岩沼市鎮座）も祀られ、同社の初午大祭は旧暦で（本年は3月27日）斎行され、陸奥に春を告げるお祭りといわれています。

紀元祭並檀原神宮遷葬

2月11日は、神武天皇様が初代天皇として檀原の宮に即位され、わが国が建国された記念の日です。まず午前10時より社殿にて紀元祭が斎行



され、次いで清涼殿2階の特設齋場にて檀原神宮を遷葬。「紀元節」の歌を声高らかに斉唱し、聖寿萬歳三唱。皇紀2681年のその上を偲び、国の隆昌と世界の平和を祈念しました。

天長祭

2月23日、中祭式にて宮司以下祭員奉仕により天長祭が厳粛に斎行され、終了後、神門前にて皇居を遙拝しました。



東日本大震災復興祈願

3月11日、当日の朝御饗祭では、復興祈願の祝詞を奏上し、大祓詞3巻を奉

唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分には、ご参拝の皆様にも呼び掛けて犠牲となられた方々に社殿前にて1分間の黙禱を捧げました。また本年は、未曾有の大災害をもたらした東日本大震災から10年を迎え、3月15日には、東日本大震災復興祈願祭を月次祭と併せて斎行し、一日も早い被災地の復興を祈りました。原発事故の問題を含めて、復興はまだまだ道半ばです。「私どもは3・11を忘れません」



「禍散らし」(チラシ)の配付

当宮では疫病熄滅退散の「笹の輪潜り神事」や終熄祈願祭の斎行など新型コロナ禍熄滅退散の諸祭儀を行っております。このほど所轄の警視庁高井戸警察署では新型コロナウイルスと特殊詐欺の撲滅を願い、当宮のご朱印に因んだ啓発チラシ「禍散らし」を作製、管内各所で配布されました。「禍散らし」は中央に当宮のご朱印が押され、「疫病退散」「詐欺退散」の二つの願いが記された御朱印符形式。下には可愛い疫病封じの妖怪「アマビエ」と「電話にはすぐ出ない！留守番電話を聞いてから」の高井戸警察署からの呼びかけも。2月15日には高井戸警察署員等関係者が参列して疫病・詐欺退散祈願祭を斎行。チラシは当宮社頭のほか、高井戸警察署管内の駅や金融機関などで約1万枚が配布されました。当宮ではこれを機に「新型コロナ禍退散祈願 禍散御守」を謹製してご社頭で授与しています。



なでしこサッカーチーム スフィード世田谷FC必勝祈願



3月13日、現在なでしこリーグ2部
で1部昇格を目指して活躍中のス
フィード世田谷FC(代表稲田能彦
氏)30名が
必勝祈願で
来宮されま
した。また、
3月24日に
は同チーム
のスポン
サー企業で
あるサミツ
ト(株)が必勝
祈願と応援
グッズの清
祓に来宮さ
れました。

『和合WAGO』取材

「和」と神社の幸せ情報誌『和合
WAGO』の編集長竹森良一氏が、神
棚マイスター窪寺伸浩氏と来宮さ
れ、宮司がインタ
ビュー取材を受けま
した。また、後日安
倍昭恵氏(前内閣
総理大臣夫人)が来
宮、参拝されまし
た。この内容は『和
合WAGO』6月号
に掲載されます。



別当墓地春季慰霊祭

当宮(別当
寺)大宮寺の
歴代別当職、
歴代の中野神
主及び歴代宮
司神職の御霊
をお祀りする
別当墓地春季
慰霊祭が、彼
岸中日の3月20日に斎行され、宮司
が拝礼しました。



大宮八幡桜まつり開催

今年は桜の開花が早くなり、3月
20日から桜まつりが開催されまし
た。神楽殿前のベンチには緋毛氈が

りんどう会だより

とんど焼き神事(1月15日)。コロナ禍の熄滅退散、無病息災を願って、ご
神火をいただいて作られた恒例の厄除げぜんざいを、多くの参詣の方々にお
召し上がりいただきました。

また、4月24日には、春の大祭に向けて、御垣内清掃奉仕が行われました。



大宮八幡宮敬神婦人会(りんどう会)では、随時会員を募集しています。お気軽に事務局(社務所)へお申し出下さい。

勸学祭ランドセルお祓い式

3月27日・28日、小学校入学を祝
いお子様の成長を祈念する勸学祭・
ランドセルお祓い式が執り行われま
した。大きなランドセルを背負った
新一年生たちが緊張した面持ちで参
拝しました。

掛けられ、朱傘が花見の風情を醸し
出していました。当宮境内より和田
堀公園(旧境内)内の善福寺川沿い
には数千本の桜があり、時季になる
と一斉に開花して目を楽しませてく
れます。開花中の土・日は午後8時
まで開門。和田堀公園への通り抜け
も自由になり、参道、境内にはかが
り火が焚かれました。

戌の日詣りは 子育八幡さまの当宮で 安産祈願祭を!

※戌の日以外でも随時お受けしております
ご祈願の方には大宮八幡息長帯(安産腹帯)と
共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康に
ご出産の時を迎えられますようにと願いが
込められた「母子緒守」と「安産祈願絵馬」を
特別に授与しております。

大宮八幡息長帯



戌いぬの日早見表

(令和3年5月~9月)

9月	8月	7月	6月	5月
11日(土)	6日(金)	1日(木)	7日(月)	2日(日)
23日(木)祝	18日(水)	13日(火)	19日(土)	14日(金)
	30日(月)	25日(日)		26日(水)

は大安の日です

大宮八幡の杜

春から夏へ

神功皇后祭



一昨年の令和元年は、ご祭神神功皇后様が神上がりましてより一七五〇年の式年に当たり、神功皇后千七百五十年式年大祭を斎行しました。以来、6月3日にはまず御陵の狭城盾列池上陵(奈良県)を遙拝し、神功皇后祭を斎行いたします。ご祭神である神功皇后様は、息長帯比売命と申し上げ、主祭神応神天皇の母君であり、この事から聖母大神とも称えられています。子授け・安産・子育ての神として厚い崇敬を受けられ、特に戌の日には多くの参詣があります。

水無月 夏越の大祓

6月30日、午後4時より夏越しの大祓が斎行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事で、当宮では神門前の特設斎場にて斎行されます。今年も新型コロナウイルス対策として三密を避けるために、一般の方々には分散型で6月27日から事前受付を始めます。(30日午後3時まで)形代を唐櫃に納めた後に神職のお祓いを受け、茅の輪・笹の輪を潜って頂くなど、夏越の大祓同様のお祓いを受けていただける



「乞巧守」を奉製
「大宮八幡乞巧守り」を、7月1日(文月朔日祭)より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や技芸の上達を祈願します。




7月1日から15日まで、第23回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿

大祓詞浄書(水無月書写会)

夏越しの大祓に併せて、りんどう会と共催で大祓詞書写会を開催いたします。6月19日より27日までの期間中は、午前9時〜午後3時まで茶室神泉亭にて随時受付しており、祓詞や大祓詞を書写していただきます。浄書された祓詞や大祓詞は大祓に引き続いて行われる奉納奉告祈願祭にて神前に納められ、大神様のご神徳を戴きます。



ようにいたしました。なお、30日当日は、神職と神社役員のみにて斎行いたします。「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」

平安の雅び第23回乞巧奠と平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

7月1日から15日まで、第23回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿

第21回納涼大宮天神こどもまつり 杜のひびきinおおみや

大宮八幡の夏の風物詩第21回納涼大宮天神こどもまつりが7月24・25日の両日にわたり斎行されます。24日は午後5時30分より宵宮祭が斎行され、大宮幼稚園をはじめ近隣の小中学校、一般の有志の方々より寄せられた書画行燈の献灯式が行われます。25日は午後5時30分、第21回納涼大宮天神こどもまつりが斎行され、午後6時30分には杜のひびきinおおみや(時間をはずした日の祭



書画行燈の募集

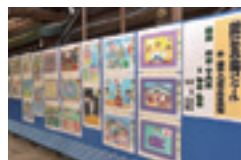
「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼り灯りを点して7月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画を指定の用紙に、必ず横長に使用してご奉納(応募)いただいております。(※用紙は社務所にあります)「無料」



事)が開演します。演奏は和太鼓の響道宴氏による新型コロナウイルスウィルス感染症の熄滅退散を祈念した奉納で、剣舞と迫力のある和太鼓のコンサートが鎮守の杜に響き渡ります。

国旗のある自由画 コンクール入選作品展

6月中旬より7月下旬まで、(社)国旗協会主催の国旗のある自由画コンクール入選作品展が、神門内北側翼廊ブルーボードに展示されます。4歳児から小学6年生までの児童の子どもらしくのびのびと画題に見合った金賞・銀賞の入選作品です。大宮幼稚園の園児の作品も銀賞に入選し展示されます。



多摩清水社例祭

8月1日は葉月朔旦祭に引き続き、御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏のこの時期に、水神様のご神徳を称え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入り口には、阿波野青畝の「広き野に霊の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。



第38回戦没者慰霊祭



8月15日、第38回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者の英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。

第21回十五夜の神遊び月の音舞台

第21回十五夜の神遊びは9月20日に斎行されます。夕刻、陪観の人々の手により約1300基の竹灯笼に火が献じられ、仲秋祭が斎行されます。その後神楽殿に於いて、恒例の尺八奏者き乃はち氏による新型コロナ禍熄滅退散の祈りを込めた演奏が奉納されます。また、清涼殿ではこの日に因んだ特選料理「月見御膳」をご賞味いただく月見の宴も催されます。



大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。
*例祭は9月15日(水)に斎行する
*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月17日(金)に斎行する
*宵宮祭は9月18日(土)に斎行する
*氏子奉幣祭・第35回神輿合同宮入りは9月19日(日)に斎行する
*神輿神霊返し祭は9月20日(祝)に斎行する

第8回フォトコンテスト作品募集中 ~締め切りせまる~

大宮八幡宮の自然や祭典行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納いただき、今秋の大宮八幡祭り(秋の大祭)より展示します。ご参拝の皆様楽しんでいただきたく、第8回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご応募いただきますようご案内申し上げます。

締め切り日

令和3年7月31日

募集サイズ：
2L・4ツ切サイズ

大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。(1人5点まで)



審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守り下さい。

プロ・アマ・年齢不問

小・中・高校の学生さんも歓迎!

応募作品についての詳細は、社頭やホームページにてご確認ください。

協力写真店

ホッタカメラ本店(浜田山)
フォトグラフ三光堂(大宮八幡宮入り)
カメラハウス本店(久我山)

*入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。(※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。)

過去6回の最優秀賞(宮司賞)入賞の作品



『当たれ!』 大野 貴義氏



『祭りだワッショイ!』 大野 貴義氏



『後押し』 杉園 幸司氏



『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』
奥村 泰子氏



『後光さす八幡宮』
早川 幸子氏



『竹取りの物語り』
久保田彬洋氏



『明日へ』 小竹秀雄氏

初宮詣芳名(敬略)

(令和2年11月21日・令和3年3月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

- 島香澄子 福地成瑠
- 細田朔央 山崎響斗
- 西澤空汰 西村友希
- 高木詞葉 溝口ゆず
- 辻野くるみ 佐藤雄矢
- 佐野楓夏 相馬葉月
- 松元仁奈 香月史温
- 田中健太 坪倉大記
- 長崎杏 押野楓
- 和出一克 馬目桜丞
- 白石泰一 高橋由衣
- 渡邊亜胡 中村颯良
- 大津綾翔 正村衣純
- 木下緑 前田椋
- 永田悠真 芝田佳帆
- 有園大悟 中村智咲
- 有園夕悟 佐藤愛莉
- 新井咲良 山下桂太郎
- 鶴岡蒼大 西崎真依
- 神林拓未 博沼凌
- 石川紘基 庄司充希
- 西川凜花 加藤康介
- 泉原颯来 大貫紗那
- 一瀬颯白 吉田怜紗
- 鈴木蘭 小川灯里
- 稲毛玲真 多田楓柊
- 長谷部史斗 浅見奈那
- 緒方葵咲 田辺樹
- 針ヶ谷悠斗 鯨井美綺
- 水野穂 松野晃和
- 福田怜叶 田中莉央
- 大門和花子 淡島麦
- 野中いと葉 松本碧斗
- 巽一晴 廣瀬杏
- 山田隼大 松島百々羽
- 高橋十兵衛 渡邊歌穂
- 金田虎伍朗 金田大河
- 藤井咲実 高橋栞
- 西山史恩 江藤麦
- 近藤立来 難波夏梨
- 近藤未采 竹本理恋
- 志賀結衣 富樫鈴
- 沓掛天政 早野成一郎
- 岩田悠豊
- 吉田笑生
- 栗山丈
- 遠藤雄斗
- 加藤楓矢
- 渡邊律樹
- 熊本董
- 桑原佑果
- 鈴木里穂
- 榊垣田結乃
- 石原綾姫
- 黒田百花
- 成田美央
- 西尾怜菜
- 内川絢永
- 岡野美美
- 上野想一郎
- コネホン真采采
- 菅野彩央
- 宮本昊
- 石田真理
- 寒竹美緒
- 齋藤悠多
- 境田椎南
- 中嶋らら
- 市川仁花
- 日下脩太
- 手塚咲菜
- 執行アカネ
- 野呂八重
- 税所葉
- 梶原乃蒼
- 梶原由蒼
- 大原凜紬
- 矢本麻結
- 喜多紘也
- 村上菜優
- 北村航大
- マシー和貴
- ジェイク
- 長野愛芽理
- 馬場優慎
- 池永しおん
- 山崎知恭
- 田村紡希
- 岩瀬あゆは
- 山下明絵
- 古田楓生
- 吉田夕乃
- 島田凜果
- 中島咲佳
- 大北望海
- 大橋楓
- 浅見知央
- 伊藤禅
- 佐野桜子
- 海辺悠斗
- 佐藤然
- 中島瑛斗
- 大塚絃慎
- 津崎珠衣
- 増子希
- 木幡葉
- 宇田川采莉
- 田村鷹祐
- 千北愛緒翔
- 磯川奈心
- 佐久間玲
- 池田菜々美
- 山口凛乃
- 能村朝陽
- 堀内真拓
- 鈴木丞
- ヴァリビト源士
- 笹井葉乃
- 木澤七菜実
- 秋元里津
- 海老名叶
- 河合航希
- 清水広海
- 新妻いろは
- 手塚優
- 宮田依由莉
- 柴野晴哉
- 木内咲花
- 穴戸夏乃
- 渡邊天登
- 村上天登
- 原田汐里
- 藤井暉光
- 長谷川蒼
- 日浅依菜
- 安田瀬央
- 山田乃々葉
- 葛西駿介
- 増田琉葵
- 久保田咲生
- 小林結人
- 木村律希
- 比嘉美来
- 清水いくみ
- 飯岡色葉
- 羽田莉央
- 松田七巴
- 松川千紗
- 黒田瑛慎
- 廣田楓
- 堀内雄介
- 永沢考
- 岸本希
- 近藤新菜
- 鐘田旭
- 伊澤桃木
- 中野慶
- 南あずさ
- 中川侑
- 國澤春希
- 及川明子
- ペイトン類
- 吉村亮哉
- 今村果歩
- 巽弓月
- 松村紗奈
- 村田耀理
- 姉川穂実
- 石田穂夏
- 島風一郎
- 葉袋愛菜
- 新名快斗
- 森美奈
- 西田陽真
- 上石幸宜
- 磯部心晴
- 市川希空
- 伊藤遼哉
- 佐藤亜稀
- 小野天
- 杉本悠莉
- 新田旭
- 小黒桃乃
- 高橋悠良
- 小菅結
- 前川結音
- 田中詠悠
- 藤間晴紀
- 栗田栞和
- 中嶋千瑛
- 西郷匠海
- 大友啓生
- 安江鳳土郎
- 牧雅人
- 阿部碧
- 小宮寧心
- 原田和佳
- 吉田衣織
- 江藤翔太
- 遠藤有椏
- ブレキキーあかり
- 山腰藍生
- 荻野愛理
- 清水攻太郎
- 増井心美
- 大島詩葉
- 角田永明
- 上園葉那
- 眞崎葵生
- 伊藤花
- 井藤拓
- 遠藤ちひろ
- 中川晴渡
- 原島一葵
- 垣尾優輝
- 縣環輔
- オリヴィア凌明夢
- 井筒晴仁
- 清宮光翔
- 西田糸生
- 谷岡仁菜
- 足立楓
- 秋山香風
- 小西凜奈
- 加藤奈那香
- 木本伊澄
- 川瀬祥平
- 馬淵梨風
- 野村一心
- 秋山莉那
- 折尾実袖
- 田中泰然
- 小幡結衣子
- 前田佳穂
- 時山燈
- 三浦梨央

どんぐり通信

それぞれステップアップ!

園庭の砂場の側にある桜も一輪二輪と咲き始めた暖かな3月6日、年中・年少組の修了式を無事に迎える事が出来ました。

私が受け持っていた年少組は4月10日の入園式が6月5日になり、その後、分散登園などいつもと違うスタートをしました。コロナ禍での保育は、戸惑いや試行錯誤の連続でしたが、変わらないのは子どもたちの元気、パワーと笑顔。その姿のおかげで、私たちも笑顔で日々過ごす事が出来たのだと改めて感じます。

3月に入ると「年中さんになったら運動会でエアドリウムを頑張りたい」と話したり、いろいろな技でピョンピョンとかっこよく跳び、なわとび賞にチャレンジしている年長組のお兄さんお姉さんに憧れ、「なわとび貸して下さい」とやる気満々の年少さん。今年はお



○は出来なかつた」と出来なかつた事を頭に思い浮かべてしまいましたが、子どもたちはその中でも大きくなったら(年長組になったら)自分もやりたいと大宮幼稚園の楽しい事を脈々と受け継いでいってくれるのだと嬉しく感動したのも、この一年を過ごしたからこそなのだと思えました。すっかり、子どもたちの成長する力を実感出来ました。

大宮幼稚園を引っ張っていつてくれた、憧れの年長さんも卒園式を迎えました。第71回の卒園式。昨年に続き園庭で卒園証書の授与など短縮された、いつもと違う卒園式ではありましたが、穏やかな天気に恵まれ、皆、立派にたくましく巣立っていました。お家の方々のご協力と神様に見守っていただいたおかげで、今年度も、子どもたちが元気に明るく過ごせた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

四月からそれぞれステップアップ!! しっかり一歩踏み出した事でしょう... みんなには、大宮パワーが伝わっているよ。"いつも、いつまでも、応援しています!!"

教諭 水村幸百合



- 岡山楓 高津美月 山本理央 市岡羽泉 柴原梢 太田垣杏 松葉素土
- 福永悠太 富村海音 中尾瑚子 山口湧梧 早乙女叶 小向悠冬 齋木柊
- 田口陽菜 木村日向 安部汐莉 中村詠登 藤田あいな 齋藤愛音 木村美月 竹村茉莉
- 小出颯 児玉美莉 星野圭梧 荒川周 齋藤綿 伊東知希 竹松柚葵 山田楓華
- 山内士暢 寺島右悟 中川周 赤松千景 吉山いち葉 増田拓良 飯島紗良 田邊真理
- 長谷美琴 薄葉史香 中原晨 原田亜莉佐 塚元菜々子 金子むぎ 菊嶋ねね 長谷川耀
- 三澤泰千 山中楓斗 藤木一央南 藤元玲衣 阿久根理央 萩元虹陽 小水野結人 水野結斗
- 藤本伊麗 根本英茉 梶田玲花 浅古琉偉 河崎稜己 前田遥翔 高瀬未翔 佐藤未莉
- 袴田怜花 野村琉華 降幡七ノ葉 船田涼珠 後藤湊成 森部陽翔 江口奏汰 小林零
- 頼富旺祐 西川励 生井惺椰 堀叶実 真下駿 木谷悠真 先川琳華 米須舜人
- 佐藤柚子 渡邊翔奏 大石悠衣 ゴーシュオルジン 原柚乃 木全凌太 古屋敷光莉
- 増田奏天 荒井奏汰 砂川眞菜 三ツ森二左良 青木六花 玉井健嗣 石塚一馨
- 家城灯李 野村凪 村田朔太郎 小川晴禾 高田和瑚 後藤萌衣 山本悠生
- 山本理央 中尾瑚子 富村海音 木村日向 安部汐莉 星野圭梧 荒川周 赤松千景
- 吉山いち葉 増田拓良 飯島紗良 田邊真理 金子むぎ 菊嶋ねね 長谷川耀
- 小水野結人 水野結斗 飯島清士郎 八田依玲那 竹内創 山下弘雅 廣川洋
- 熊田美環 小泉安輝 福島有菜 武田莉里奈 高澤結菜 南方條 市瀬羽七
- 小宮芽奈 小石歩生 黒木梨椿 加藤愛惟 原唯斗 伊藤冬真 木村侑三朗
- 渡邊慶音 矢嶋理玖 小林夢 中川歌乃 三上璃子 瀨野琴美
- 村田武琉 門井紗良 菅真登 平瑛菜 相園唯乃 小林楓
- 渡邊藍礼 堀口怜馬 山内涉平 田窪蒼 坂田光洋 高島和香奈

十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれた「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福德・美声等を授かるためにご祈願致します。

関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

- 鈴木木童 内田青葉 松田龍司 吉田粹 岩澤沙 山田楓華 田邊真理 大沼橙生 織田海翔 首藤継陽
- 大榎律澄 小澤不望 箱島光 神崎思乃 宮武沙樹 佐藤莉世 力石拍 石井琳菓 高山慶
- 眞子紗那 炭谷武蔵 伊藤結翔 佐藤俊太郎 神長さくら 金宇埜 水上陽菜 藤出紘人 中込菜乃
- 品野明誠 小野原花彩 加藤穂 坪口英燈 上代大翔 天本風 長島里緒 山田一葉 野村建斗 前島立青
- 木村耀 小倉久幸 飯田匠海 杉浦凜 石川蒼依 虻川翼 野村芽生 堀内誠嗣
- 内倉衣都 土井玲奈 小野紗悠 稲垣明莉 佐伯一織 小野坂里彩 上山輝真
- 羽田野紗永 鈴木英祐 倉片玲奈 土倉悠 嶋村昊泰 浅沼日向 辻明依
- 森優登 森廉 白川廉 井野口巧実 大石弘太 海老原ちより 岩崎陽大
- 赤堀夢愛 牧野翔悟 橋本晴宗 中島翼 井瀬湊斗 栗石健太 栗石康太
- 松尾壮馬 犬丸須治 谷口仁菜 近藤陽和 森美久音 伊藤凜 井野口杏
- 鎌田幸太郎 高橋慶志 森山光稀 伊夫伎彩子 大石杏菜 山崎瑞生
- 谷村侑晟 中村凌久 沼田乙葉 中戸川惺柗 中田空羽 萩原彩羽
- 蓮尾泰親 上田芽泉 日高遼 北嶋里亜武 西川柚璃 吉田壮佑
- 山羽満貴

祝 七五三詣

七五三衣裳展示会は 随時行っております 事前にご予約のご連絡をお願いします。

七五三年齢表

- 七歳 女児 平成27年生
- 五歳 男児 平成29年生
- 三歳 男・女児 (平成31年生) 令和元年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。 満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

緑豊かな都心の杜。 感動の瞬間

初詣 集宴会 衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

清涼殿 03(3312)7515

結婚式挙式者芳名(敬称略)

(令和3年1月1日~3月31日)

- 中西雄也・愛珠 山崎哲生・陽子
- 朝久野雄司・有美子 網島大空・真帆
- 井川一也・美保

わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日



第一日ノ儀 浦安の舞奉奏 [3日]



第二日ノ儀 大宮八幡宮植樹祭 [4日]
(みどりの会主催)



わかば祭り当日祭 [5日]
(尚武祭)

感謝と祈りの心を大切に
ご神縁に守られる 心豊かな毎日を

外拝殿の拡張

昇殿参拝のご案内

臨時の参列席を増設しています。
適度な間隔を保って、ご家族一緒のご参拝ができます。



※コロナ対策ご協力をお願い

受付所には、窓口透明シートを設置致しております。
受付後の検温にご協力ください。また昇殿前の手水は行わず、手指の消毒を以てこれに代えさせていただきます。
多くの方が手を触れる玉串は使用せず、皆様にはご一緒にご拝礼頂きます。
ご祈願祭後の清涼殿での直会はいませんので、ご神饌としてお渡しするご神酒を、ご自宅で拝戴ください。



大 宮 第120号
令和3年 春の大祭号

令和3年5月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570
東京都杉並区大宮2-3-1
電話(3311)0105 FAX(3318)6100
Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp



大宮幼稚園 第71回卒園式